



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

厚生科学審議会 疾病対策部会
造血幹細胞移植委員会（第62回）

令和8（2026）年8月27日

資料2



造血幹細胞提供支援機関と 臍帯血供給事業者の現状と課題

2026年8月27日

第62回厚生科学審議会疾病対策部会
造血幹細胞移植委員会

日本赤十字社 血液事業本部

造血幹細胞提供支援機関

第1号業務 関係事業者の行う事業に必要な協力

骨髄バンクドナー登録希望者受入と検査・個人情報管理、臍帯血バンク研修会開催などの技術支援など

第2号業務 造血幹細胞提供関係事業者に必要な連絡調整

各種関係団体との連絡会議の開催、委員会の設置 など

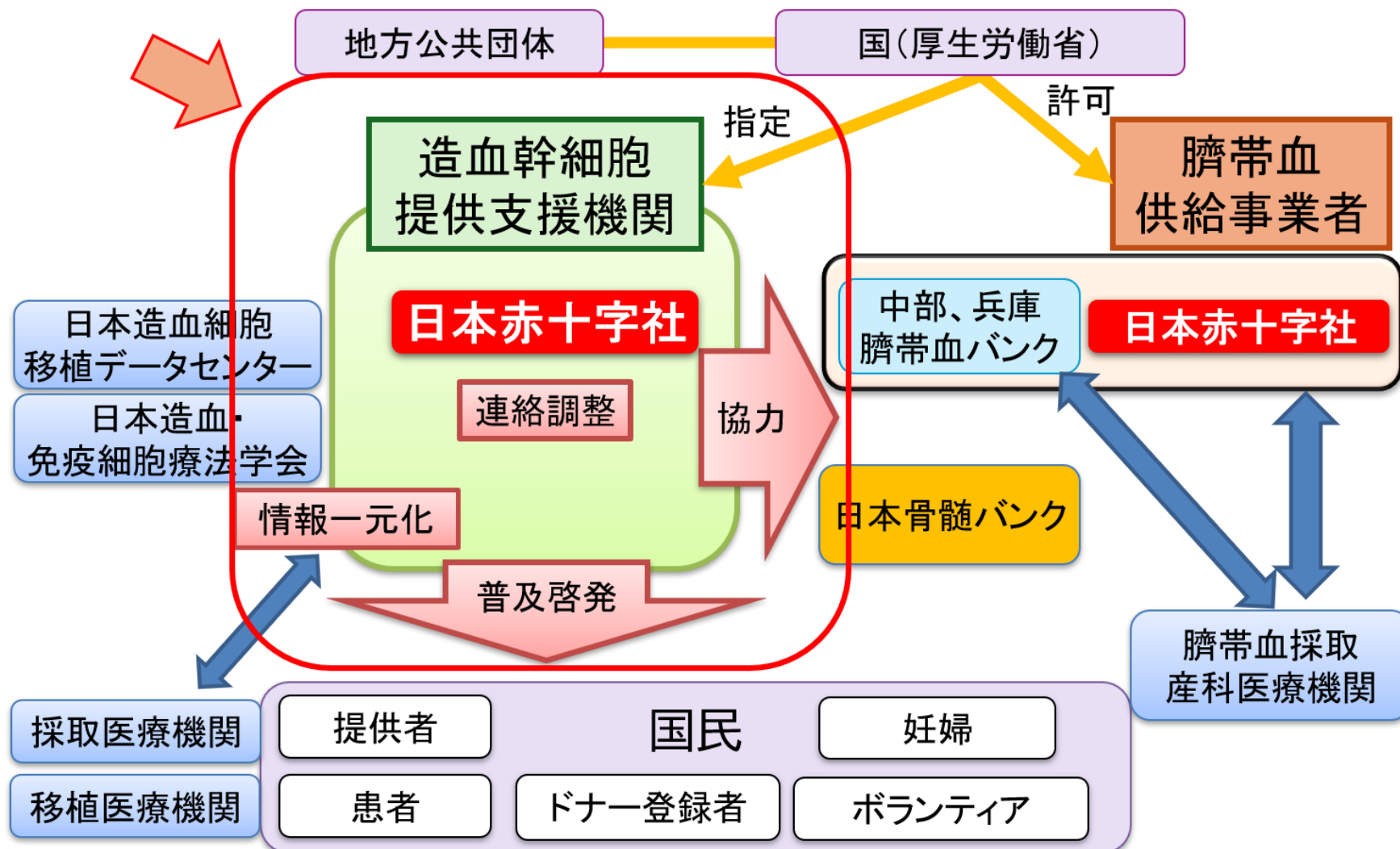
第3号業務 造血幹細胞に関する情報の一元管理と情報提供

骨髄ドナー個人情報管理、臍帯血公開情報管理、ほか造血幹細胞提供支援システムの開発および保守・運用 など

第4号業務 造血幹細胞の提供に関する普及啓発

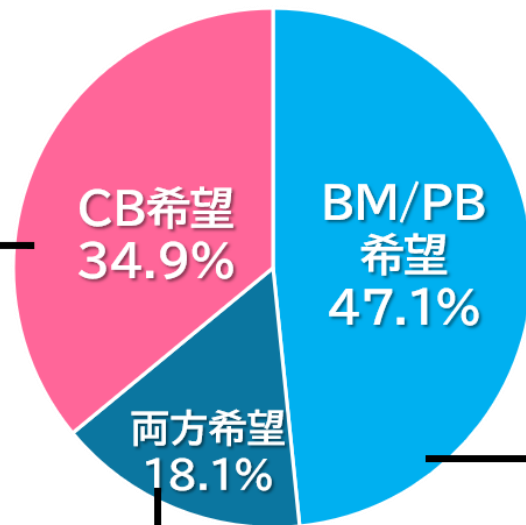
ポータルサイト運営、広報誌作成配布、動画配信などの国民に向けた普及啓発活動 など

日本赤十字社が担う造血幹細胞事業での役割（造血幹細胞提供支援機関）

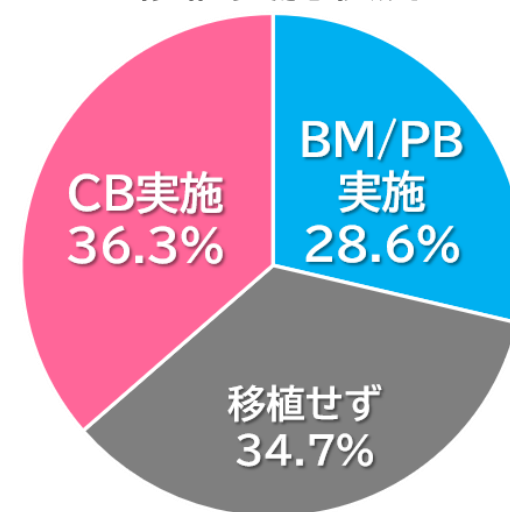


バンクを介した移植の希望と実施状況（2023年登録患者→2025年3月末時点）

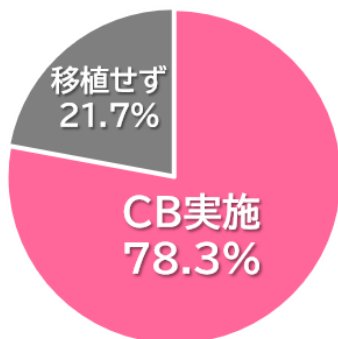
移植希望患者(3776件)



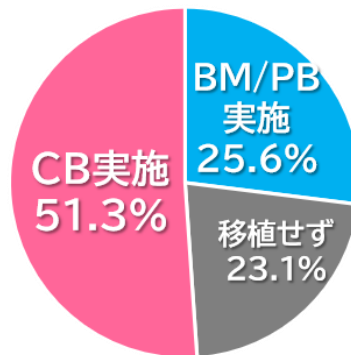
移植実施状況



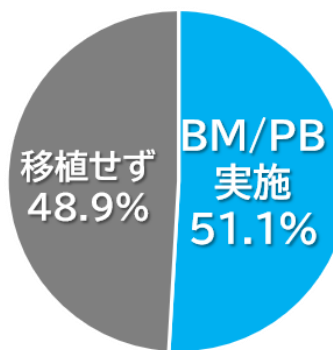
CB希望患者



両方希望患者



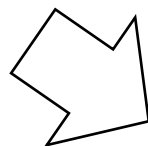
BM/PB希望患者



造血幹細胞移植支援システム
医療機関支援機能より集計

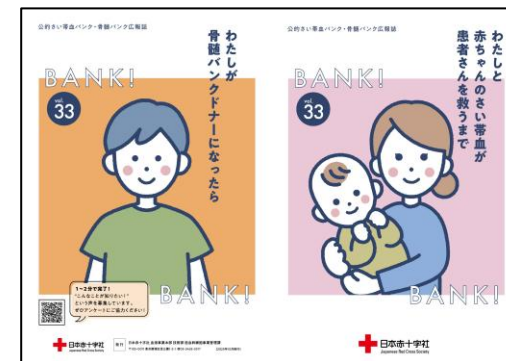
BANK!BANK!(2025年度 2回発行)

vol.34



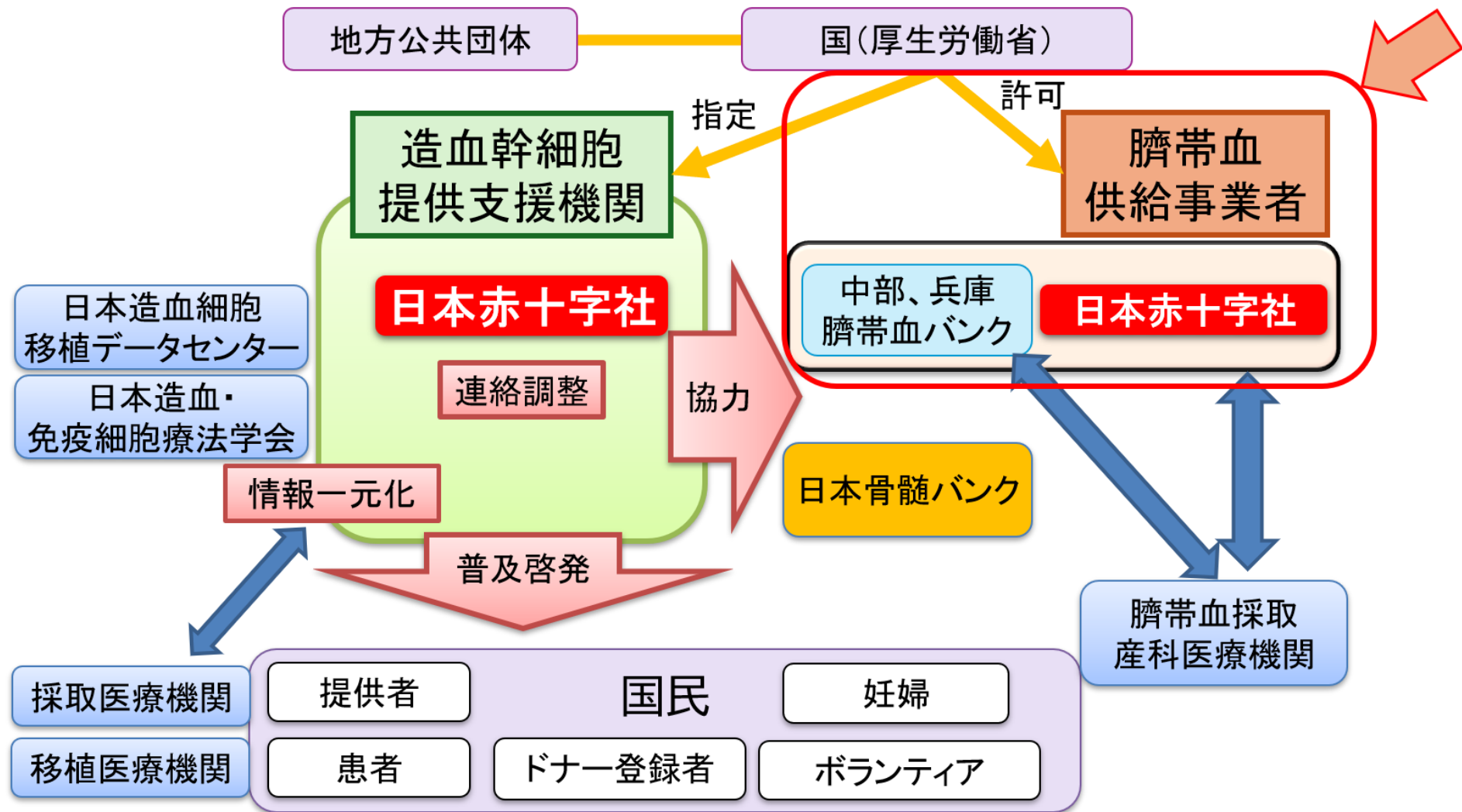
20～30歳代の若年層に興味をもっていただけるようにイラストや写真を多用した紙面構成に。

vol.33



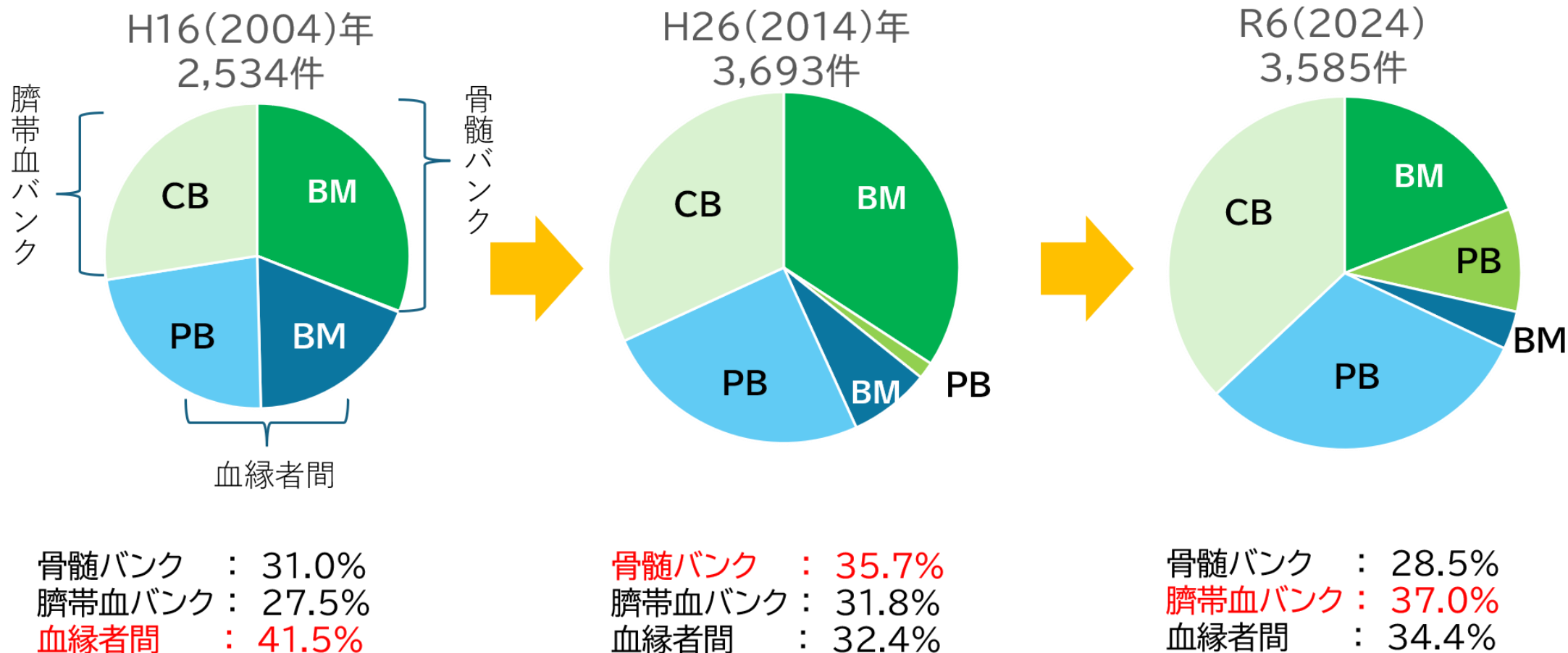
臍帯血供給事業者(臍帯血バンク)

日本赤十字社が担う造血幹細胞事業での役割（臍帯血供給事業者）



国内の同種移植件数の年次推移（移植ソース割合の推移）

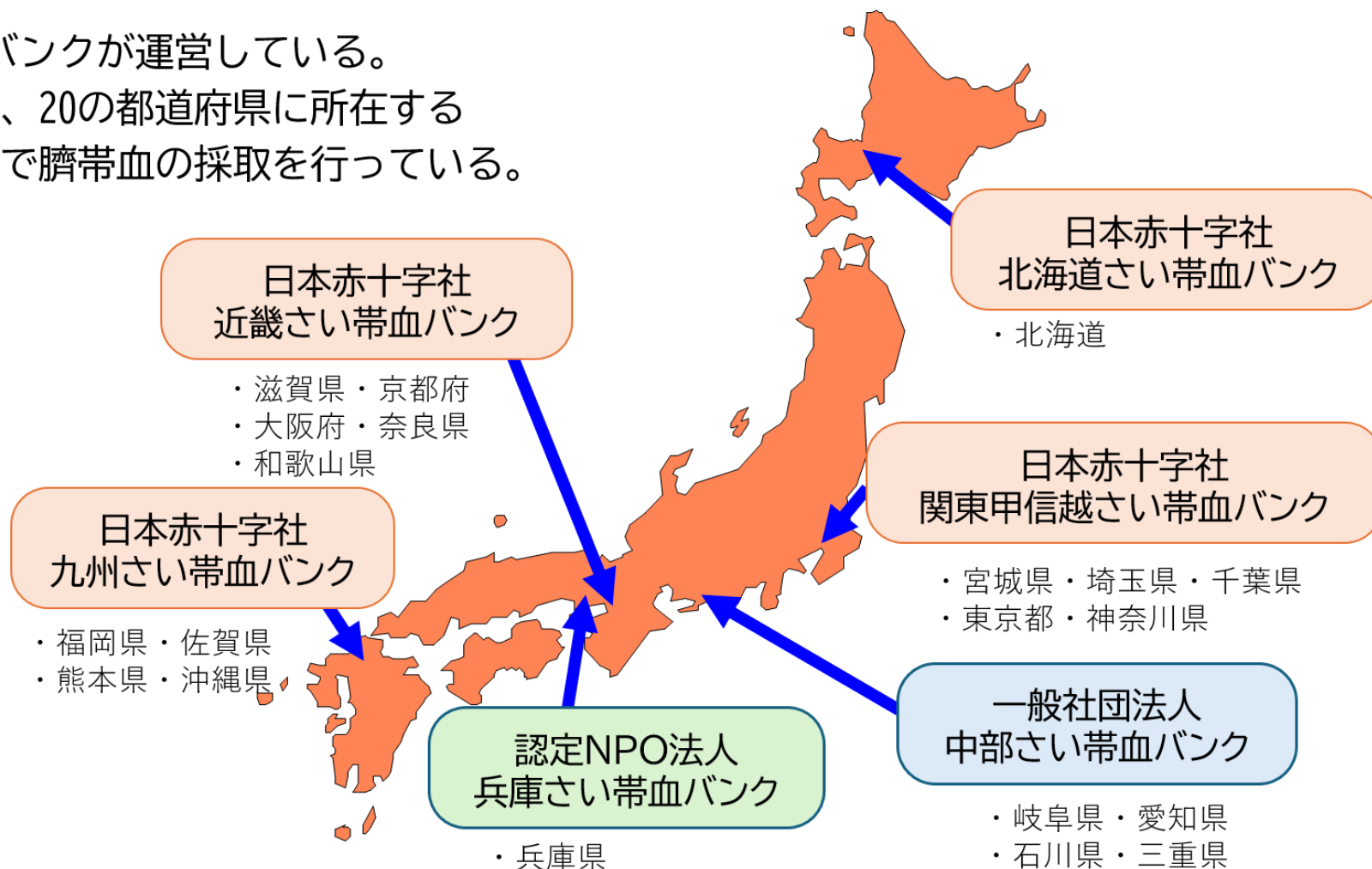
BM:骨髄 PB:末梢血幹細胞 CB:臍帯血



臍帯血供給事業者（臍帯血バンク）の配置



国内では3事業者6バンクが運営している。
2026年7月末時点で、20の都道府県に所在する
121の採取産科施設で臍帯血の採取を行っている。



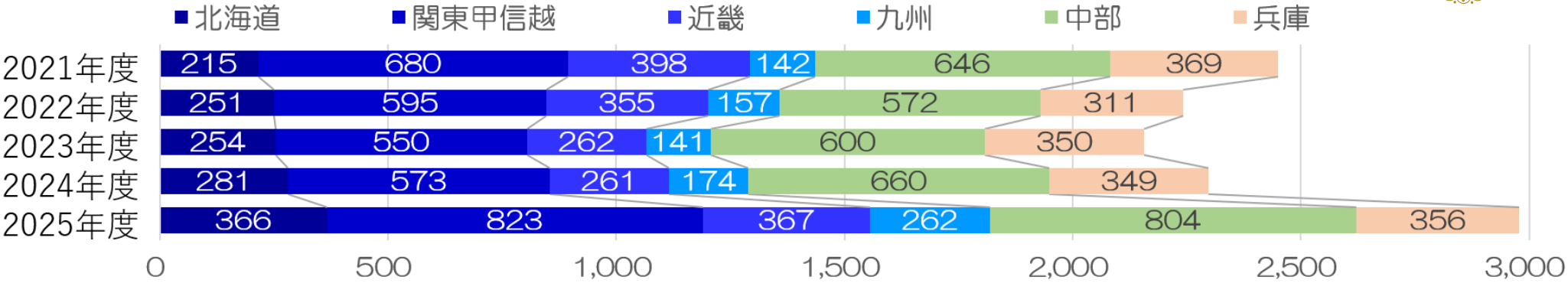
臍帯血バンク事業実績の年次推移



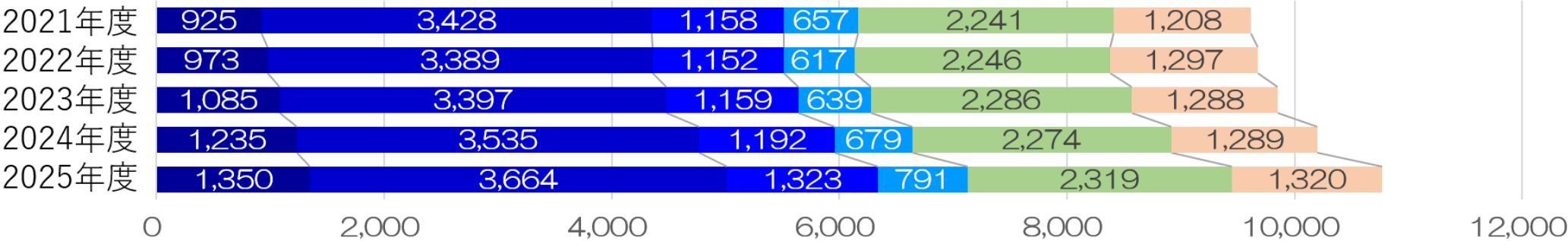
日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



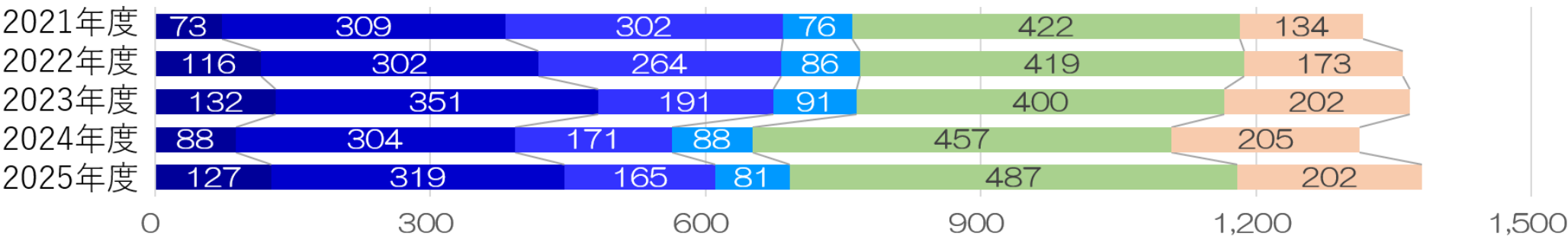
【新規公開数】



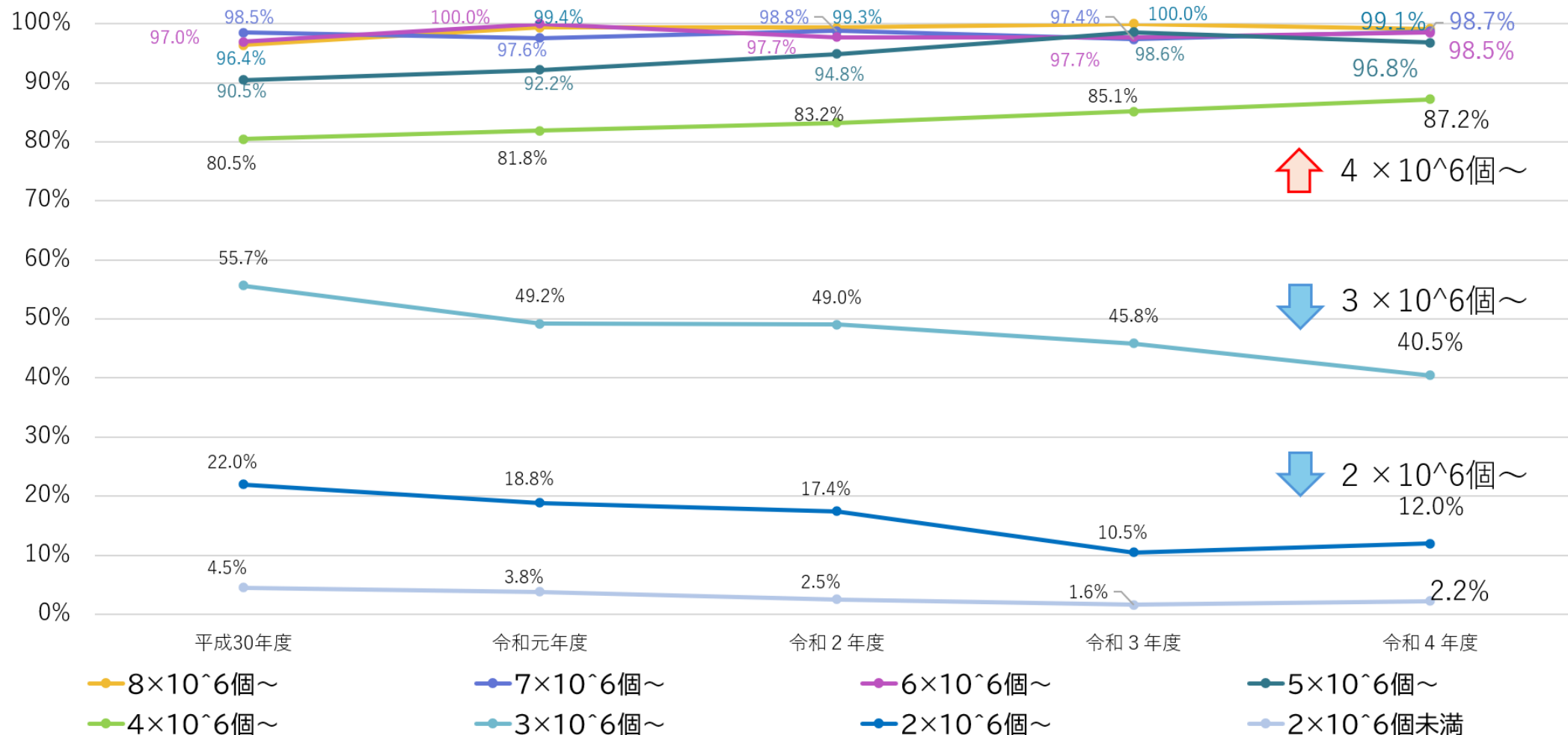
【公開数】



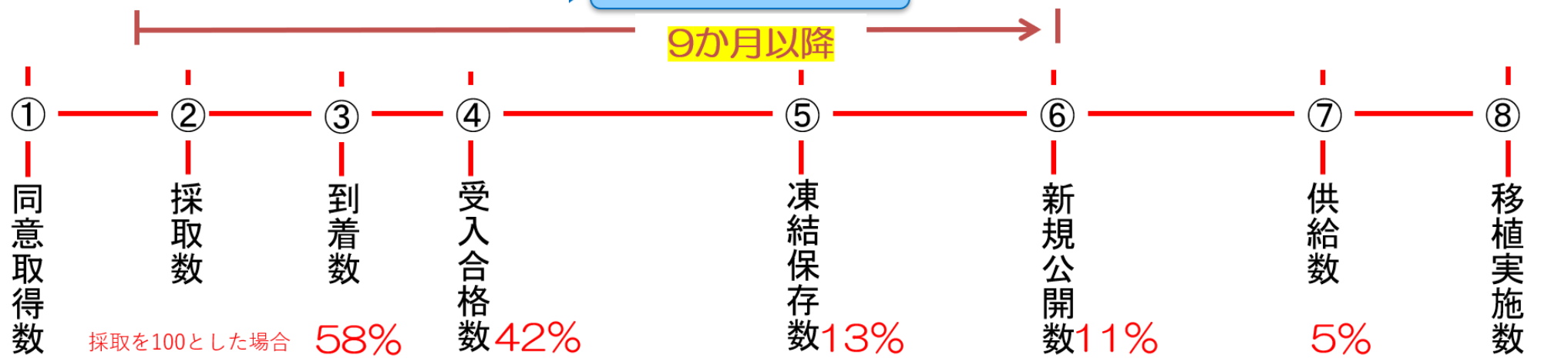
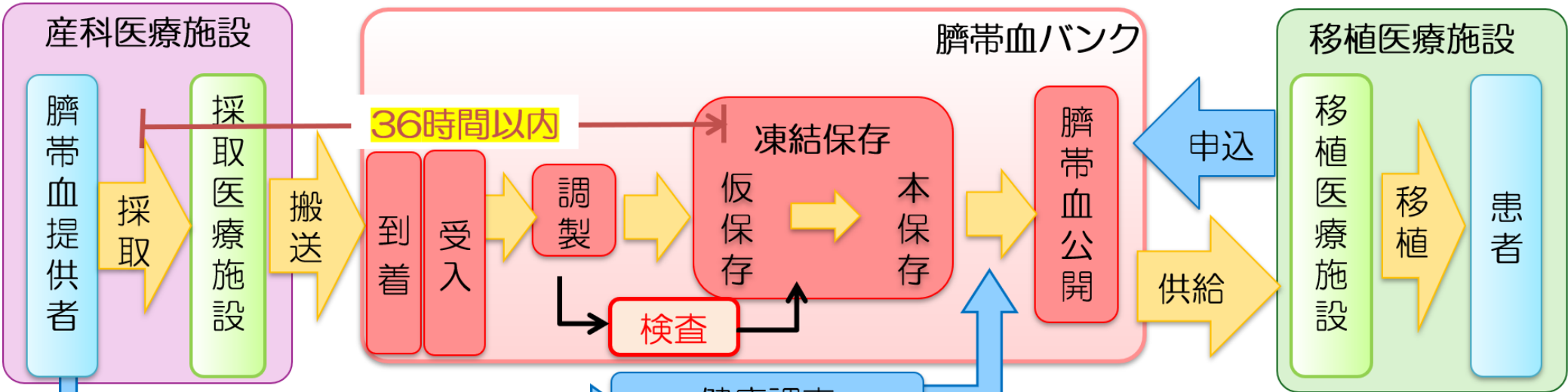
【移植数】



公開後3年以内での移植利用率(CD34+細胞数)



臍帯血バンク事業の各工程ごとの合格率 (国内6バンク 2024~25年度集計)



臍帯血採取技術研修会（支援機関として開催）



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



- ・毎年1回開催（現地・Web ハイブリッド形式）
- ・**全国の採取協力施設の医師／助産師／説明担当者を対象に**日本赤十字社が主催、6バンク協力で開催。
- ・昨年度は50施設、100人ほどの参加。
- ・厚労省から国の支援状況の説明、**移植経験者から体験談、採取実績の高い産科施設から取組みの紹介**、等の講演を行い採取産科施設の技術およびモチベーション向上を目指す。



令和 8 年度 臍帯血採取技術研修会

開催日時： 令和 8 年 9 月 12 日（土） 13：30～16：00

開催場所： 日本赤十字社 別館 2 階 大会議室（東京都港区芝公園 1-2-1）

開催形式： ハイブリッド開催（現地参加+Web）



プログラム

13:30～ 13:35	開会の挨拶 石丸 文彦 調整監 （日本赤十字社 血液事業本部 技術部）
13:35～ 13:45	臍帯血バンクの現状と課題について 講師：石丸 文彦 調整監 （日本赤十字社 血液事業本部 技術部）
13:45～ 14:00	移植に用いる臍帯血の適切な提供の推進のために 講師：高波 直樹 先生 （厚生労働省 健康・生活衛生局 難病対策課 移植医療対策推進室）
14:00～ 14:25	臍帯血移植を受けられた方の体験談 講師：神下 菜衣 先生
14:25～ 14:50	臍帯血採取技術について 講師：佐藤 匡昭 先生 （医療法人慧成会 産院いしがせの森）
14:50～ 15:00	休憩（進行状況により時間を調整する場合がございます）
15:00～ 15:25	日本赤十字社 関東甲信越さい帯血バンクの紹介 講師：宮城 徹 製剤三課長 （日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター 製剤一部）
15:25～ 15:55	日本赤十字社より情報共有 臍帯血提供関連書類の IT 化について
15:55～ 16:00	閉会の挨拶 遠藤 嘉浩 次長 （日本赤十字社 血液事業本部 技術部）

●プログラムは都合により変更になる場合がありますので予めご了承ください。

主 催：日本赤十字社（造血幹細胞提供支援機関）

後 援：公益財団法人 日本産婦人科医会

問い合わせ先：日本赤十字社 血液事業本部 技術部 造血幹細胞事業管理課

TEL:03-3433-5317 FAX:03-3437-7745



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



移植医療体制整備事業（移植拠点病院）と臍帯血バンクの連携



拠点病院	担当バンク	主な協力活動
北海道大学	北海道	・移植拠点病院主催研修会の開催協力、採取施設／バンクからの講演 - バンク見学ツアーの開催 ・バンク主催研修会に、拠点病院医師からの講師派遣 ・採取施設の教育訓練への、移植拠点病院医師の同行 ・バンクと拠点病院の連名／ロゴ入りの広報資材の作成 ・拠点病院周辺の産科施設の採取協力リクルートの連携
虎の門病院 駒込病院 がん中央センター	関東甲信越	
愛知医療C名古屋第一病院 金沢大学	中部	
大阪公立大学	近畿	
	兵庫	
九州大学 琉球大学	九州	など

- ✓ 移植ソースとしての重要性が増しており、国内の造血幹細胞移植医療を支えるために、今後も**安定した臍帯血供給が必要不可欠**である。現時点では移植に必要とされる数の臍帯血の採取はできているものの、さらに出生数の低下が進むと、将来的に安定した確保と提供が困難になるおそれがある。
 - 出産時にしか提供できない臍帯血の提供を、引き続き**国民へ呼びかけ**ていく。
採取施設との連携・自治体との協力・学校教育への導入を推進していく。
- ✓ それぞれの臍帯血バッグに含まれる幹細胞(CD34+)数が公開されたうえで凍結保存されているため、**移植医師が必要なタイミングで適切な臍帯血を選択でき、迅速に供給**できる。移植成績の向上とともに、幹細胞を多く含む臍帯血が求められているが、細胞数条件を満たし保存される臍帯血は、**採取されたもののうち1割程度**にとどまる。
 - 引き続き、採取技術の向上を目指して、**採取施設と連携**を深める。
採取された多くの臍帯血が幹細胞不足により廃棄されているため、**新たな有効活用**の方策はないか。
臍帯血は再生医療の細胞ソースとしても注目されているため、**将来に向けた議論**が必要。
- ✓ 年々高度化する臍帯血関連検査、調製保存資材の高騰などにより**臍帯血の製造コストは上昇**しているが補助金や診療報酬(臍帯血管理料)による**収入が増えないため、経営が厳しいバンク**がほとんどである。
 - **品質確保・事業継続・安定運営**のため、人材の育成と収益の確保、更なる効率化が必要。